ＳＤＧｓが地域の連携を促進

第３ターム

みやぎSDGs Farm

第 23 号

2024 年 2 月 27 日（火）

発　　行：河北新報社営業局

特別協力：SDGsとうほく

1月24日、「みやぎＳＤＧｓ塾」❓第3ターム前期のプログラムとして東松島市・石巻市方面へのバスツアーが開催されました。参加者は木材生産・販売などを営む山大（石巻市）などを見学し、学びを深めました。

石巻・東松島を視察

木材生産の現場を視察し森林の利用と維持を考える

今回のバスツアーの目的地の一つは、「ＳＤＧｓ塾」参加企業でもある山大（石巻市）です。江戸時代に創業した同社は現在、森林経営、木材生産・販売のほかプレカット、木造住宅建築などの事業を営んでいます。

山大の宍戸広光さんによると、同社がＳＤＧｓを意識した取り組みを始めたのは2019年。「もともと木という循環資源を扱う会社なので、地産地消、二酸化炭素排出などの面で取り組みやすかった」と宍戸さんは話します。

山大は現在、同社のブランド木材「宮城の伊達な杉」の販売量に応じてスギの苗木を寄付する活動を続けており、宮城県東部地方振興事務所、石巻地区森林組合とも連携して林地の回復に努めています。

また社員一人一人のＳＤＧｓ目標をカードにして掲示するなど、社内の意識向上を図る取り組みも行っています。

（上）山大の敷地内でスギの丸太をバックに記念写真（下右）宍戸広光さん（右端）の話を聞く参加者（下中）木の皮を燃料として活用する施設を見学（下左）製材工場を案内してくれた山大の阿部哲也さん

近隣市町と連携を深める石巻市のＳＤＧｓ事業

石巻市でのもう一つの目的地は、石巻市役所です。内閣府から「ＳＤＧｓ未来都市」の認定を受ける同市のＳＤＧｓ普及啓発の取り組みについて、市職員の阿部雄大さんが説明してくれました。

石巻市が特に力を入れているのが市民のＳＤＧｓ認知度向上です。地域にゆかりのあるマンガでＳＤＧｓを解説した冊子「石巻・ＳＤＧｓを学ぶ本」の全戸配布や、全職員を対象とするＳＤＧｓ研修を開催し、認知度の向上を図ってきたことで、ＳＤＧｓ認知度が81.7％まで上昇し、今後はＳＤＧｓを意識した取り組みに力を入れるとのことでした。

また、東松島市、女川町と「石巻圏域」として連携し、ＳＤＧｓシンポジウムやビーチクリーン活動を実施するなど、広域的なつながりを重視した取り組みも積極的に進めています。

石巻市役所でＳＤＧｓ普及啓発の取り組みについて解説する市復興企画部の阿部雄大さん

参加者の声　組織内の研修の重要性感じた

国分東北
佐藤悟さん

全職員にＳＤＧｓの研修を課す石巻市の取り組みに感銘を受けました。研修を徹底することで、一人一人がＳＤＧｓを自分ごととして捉え、各々の業務に関連付けて考えられるようになるのだと思います。弊社内で意識の向上を図るうえで参考になると感じました。

❓ みやぎSDGs塾って？

国連が提唱する「ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）」を軸に企業や個人が連携し、豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎＳＤＧｓファーム」の基幹プログラム。ＳＤＧｓ活動を推進する人材「みやぎＳＤＧｓアンバサダー」を養成する「標準コース」と、具体的な事例の発展に向けて議論する「実践コース」の２講座が開講され、2021年から河北新報社が運営しています。

子どもたちのアイデア実現に向け知恵をしぼる

訪問した東松島市は、2018年に「ＳＤＧｓ未来都市」の認定を受け、先進的な取り組みを続けてきました。バスツアーの一行は同市内の「東松島みらいとし機構（ＨＯＰＥ）」を訪れ、市の取り組みや、ＨＯＰＥの事業について担当者の話を聞きました。

その後、参加者は5～6人のグループに分かれ、市内の小学生が環境問題の解決策などを考えて描いた「環境絵日記」をもとにディスカッション。マイボトルで飲み物を買える自動販売機や、ゴミ減量を促すロボットといった子どもたちのアイデアを実現するために知恵を出し合い、グループごとにその成果を発表しました。

「環境絵日記」に描かれた子どもたちのアイデアを実現する方策についてディスカッションし、模造紙にまとめました

参加はこちらから！

みやぎSDGs Farm

賛同企業

募集中!!

公式 HP

よろすぐお願いします

［申し込み・問い合わせ］

河北新報社営業局

TEL／022-211-1318

MAIL／koukoku@po.kahoku.co.jp

TOPICS

サーキュラーエコノミーによる地方創生シンポジウム東北in仙台

3月6日 水　13:30～16:35（予定）

場所　仙台国際センター会議棟 橘（仙台市青葉区青葉山）

受講無料（先着200名様）

参加申込は右記QRから

主催／経済産業省

共催／河北新報社

みやぎゼロカーボン大作戦

3月16日 土　13:00～16:00

場所　せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア（仙台市青葉区春日町2-1）

参加無料（事前申込不要）

詳細は右記QRから

主催／宮城県

● 第３ターム参加者（敬称略） ●

【あすなろ学院】佐々木陵太、齋藤学【荒町商店街振興組合】庄子康一【YES工房】大森丈広【エントワデザイン】佐藤寛和【オフィス塩騒】加藤貴伸【環境再生保全機構】【高速】高橋篤【国分東北】佐藤悟【スタイルスグループ】千田佳子【ソニーピープルソリューションズ / 多賀城工場地帯連絡協議会】大谷哲也【タイハク】長坂孝裕、南條世紀【竹鶏ファーム】赤渕利恵【蜂屋食品】蜂屋和彦【大日本印刷】阿部巧、矢島迅人、森勇大、小泉一也【日建リース工業】工藤雅人、鈴木健太郎【フクダ・アンド・パートナーズ】加藤祐、阿部真美【松島蒲鉾本舗】葛西健太郎【宮城県民共済生活協同組合】草薙聖樹、遠藤早織、長谷朋佳、佐山道大、鈴木良太、長牛麻美【ミライトス】鈴木圭介【山一地所】原田千純、熊谷健太郎【山大】髙橋拓宏、本郷友恵、三上明子【WACO CREATE】岩村和哉、岩村優香【個人】千葉よかこ【尚絅学院大学】大沼晃太郎、猪野拓歩【宮城大学フードサービス論研究室】斎藤真里奈、曽根咲桜、高屋奏太、永澤美咲、由比一光【オブザーバー】紅邑晶子、高橋好郎、高浦康有

● 賛同企業・団体・個人 ●

都道府県民共済グループ 宮城県民共済　SUIKOO https://www.suikoo.co.jp/　DNP 大日本印刷　地球環境基金　ERCA 独立行政法人 環境再生保全機構　SHOKEI 尚絅学院大学　タイハク　日本製紙株式会社

みやぎ生協　山一地所　木のぬくもりを形に yamadai　わかる・できる・頑張れる あすなろ学院　エントワデザイン　パッケージの専門商社 株式会社 高速　国分東北

応援してっちゃ!　STYLES GROUP EAT LOCAL & INNOVATION　竹鶏ファーム TAKETORI FARM　日建リース工業株式会社　蜂屋食品　F&P フクダ・アンド・パートナーズ　こだわり造り 松島蒲鉾本舗　ミライトス株式会社 Brand Communications & Services

荒町商店街振興組合　YES工房　オフィス塩騒　多賀城工場地帯連絡協議会　WACO CREATE　千葉よかこ

特別協力　SDGsとうほく　協力　宮城県　JICA東北　尚絅学院大学SDGsセンター　宮城大学フードサービス論研究室